

2008 年度事業報告書（要旨）

学校法人松本歯科大学

法人の概要

I. 設置する学校・学部・学科とその定員等

1. 松本歯科大学

(2009年3月31日現在)

学部・学科	開設年度	入学定員	収容定員
歯学部歯学科	1972	120	720
大学院 歯学独立研究科	2003	18	72

2. 松本歯科大学衛生学院

(2009年3月31日現在)

学部・学科	開設年度	入学定員	収容定員
歯科衛生士科	1977	30	60

事業の概要

I. 教育

1. 松本歯科大学

【歯学部】

(1) 教育・カリキュラム

①進級試験の導入

科目単位で行う従来の定期試験に加え、1年間の履修を総合的に評価するため進級試験を導入した。

②カリキュラムの見直し

表現能力やリーダーシップなどを養うため、以前から「接遇セミナー」などの授業を取入れてきたが、第1学年から第3学年に授業科目として「医療人行動学」を設け、コミュニケーション能力の向上と豊かな人間性の醸成を図った。

(2) 学生生活

4月、6月及び10月の計3回、三者面談を実施し、学生の学業、生活状況に対する父母の理解を深めた。4月、10月の三者面談には、それぞれ600人を超える学生、父母が参加した。

(3) 入学者選抜試験

2009年度入学者選抜試験は、従来からの公募制推薦入試、一般入試、センター利用入試、編入学試験に加え、新入試制度導入（指定校推薦・AO入試・校友子女入試）及び新設した特待生募集を実施した。

【大学院歯学独立研究科・総合歯科医学研究所】

(1) 教育事業

①医療経営政策学ユニット追加

2009年4月から医療経営政策学ユニットを開設するため、科目の追加、担当教員の選考等の開設準備を行ったうえ、大学院学則を変更し文部科学省へ届け出を行い、受理された。

②大学院特別講演

共同研究・学術協定を締結しているハーバード大学肝細胞研究所 Douglas A. Melton 教授を招き、「糖尿病治療に向けた膵臓β細胞の作成」と題して大学院特別講演を行った。

(2) 研究

①各部門の主な事業

硬組織疾患制御再建学部門では、「第7回松本ボーンフォーラム」を2008年5月9・10日にかけて本学において開催し、多数の参加があった。

②共同研究

ハーバード大学及び東京大学を中心とした器官再生に関する国際共同研究 (ICORP) において、歯と骨の再生について ES 細胞ならびに歯根膜幹細胞を用いた研究を行ったほか、海外の教育研究機関との間で 4 件の共同研究を行った。

③科学研究費補助金の採択について

2008 年度に受けた科学研究費補助金は、全国の大学の中でも上位の交付金額であった。また、民間からの受託研究も積極的に行い、実績を上げている。

2. 松本歯科大学衛生学院

(1) 学生募集事業

受験生を確保し、入試の選抜機能を確保するため、高校 1・2 年生対象の進学ガイダンスの開催日数を増やした。

(2) 歯科衛生士養成機関の 3 年制への移行に係る事業

- ①予定していた短期大学の設置については、学校法人を取り巻く諸般の情勢を勘案したうえ方針を変更、専修学校として 3 年制課程へ変更申請することとした。
- ②3 年制課程の教育課程については、歯科衛生士国家試験受験資格のほか、訪問介護員 (ホームヘルパー) 2 級等の資格取得にかかる講座の開講を計画している。

II. 病院・診療

1. 臨床研修

臨床実習を充実させるための臨床実習室、臨床実習・研修室を整備し、2009 年度から使用する。臨床教育の向上に寄与するものと考えている。

2. 地域医療との連携

地域医療機関との連携医療ネットワークの構築として、医療連携室を 2009 年度より歯科領域について実施する。今後、より活動を活性化させるための方策を検討していく。

3. その他

- (1) 健康づくりセンターについては、運動実践室の利用者が徐々に増加しつつあり、医科歯科総合健康ドックも同センターを受付窓口として稼働を開始した。特定検診及び特定指導については 2009 年度から実施する予定である。
- (2) 口腔インプラント科を新設し、診療体制の充実を図った。
- (3) 地域医療機関との連携ネットワークの構築のうち、新病院の検査設備(特に MRI)の開放的利用については、漸く院内での稼働が始まったところであることから、2009 年度に体制を整えて行きたい。

Ⅲ. 管理・運営

1. 施設・設備の整備

(1) 新病院の設備整備

2008年4月に開院した新病院においては、新たに健康づくりセンターの開設にかかる施設整備を行った。また、放射線検査室に最新鋭のMRI並びにX線透過装置を導入し、歯科・医科・健康づくりセンターの各部門での有効活用の体制の構築を図った。

(2) 本館の一部改修

本館北棟1階から3階及び本館東棟・西棟3階の改修工事を行った。

(3) 学生及び病院患者へのサービス向上

①健康増進キャンパス整備の一環として、学生に対するワンコイン(1日3食500円)での食事提供を実施し、また、ヘルシーメニューの提供を行った。

②地域社会への貢献及び患者へのサービス向上を目指したシャトルバス運行事業については、利用者増加へ向けた運行体制の検討と見直しを行った。

2. 図書館

(1) 学術資料購入、蔵書管理、閲覧利用等では、学生及び研究者への快適な利用環境の維持に努めた。また、医学図書館として、高度な歯学・医学情報の収集を積極的に実施した。

(2) 閲覧室内利用者のペーパーレス化を継続して推進した。

(3) 平日の開館時間の延長のほか、土曜日を開館し利用者の利便性の向上を図った。

3. 管理経費の削減

安定した運営を継続し、財政基盤を強固にするための施策の展開を基本方針とし、2009年度に向けた様々な経費削減に取り組んだ。

4. 広報・学生募集

(1) 高大連携推進の一環として、高校において出張講義を実施した。また、希望校に対し、模擬講義、学内案内等を行った。

(2) 一日体験入学開催にあたり、新規に校友子女を対象にした特別一日体験入学を開催した。

5. 大学機関別認証評価の受審

本学は2008年度に財団法人 日本高等教育評価機構の大学機関別認証評価を受審した。その結果「松本歯科大学は、日本高等教育評価機構が定める大学評価基準を満たしている」と認定された。

今後、自己点検・評価体制の更なる充実・整備を図っていく。

6. 学校法人運営調査委員による実地調査

2008年7月、学校法人運営調査委員(文部科学省)による実地調査を受けた。法人の管理運営組織及びその活動状況、財務状況等に関する調査及び指導・助言を受けた。指導・指摘事項等については積極的に改善を図り、管理運営体制の充実強化を進めていく。